

建築士養成インターンシップ（対象専攻：総合デザイン）

学外インターンシップ A・B

前期・選択・各4単位

Internship out of Campus A・B

担当教員 主担当：三上晴久

授業目的・方針、到達目標

実際の実務設計に携わることで、建築設計に必要とされる能力の基本を学ぶことを目的としている。

1年次前期（夏期休暇を含）に開設される当科目では、まずは実際の建築設計事務所では、どのような業務がなされているのか、しっかりと理解したうえで設計補助に取り組まれない。

授業内容

建築設計事務所にて建築設計業務の補助作業を行うことにより、実施設計の進め方や設計図書の作成について経験を得る。

インターンとして補助する内容は、JIA が定める実務訓練制度に準拠、主として次の項目を想定。インターン期間中の対象物件の進捗状況により、適時補助作業に当たることとする。

1. 設計前業務：①企画、②敷地及び環境調査。
2. 基本計画業務：①基本計画の検討、②関連法規調査。
3. 基本設計業務：①基本設計検討のためのスタディ、②基本設計図書の作成、③設計仕様と材料の概要検討。
4. 実施設計業務：①実施設計検討のためのスタディ、②実施設計図書の作成。
5. 工事発注に関する業務：①見積内容の分析。
6. 管理業務：①設計図書と施工工事の適合の照合。

実習先は本学教員が主催とする以下の事務所を含む一級建築士事務所とし、あらかじめ本大学院が指導者として適当であると認めた一級建築士の指導を受けることとする。「遠藤剛生建築設計事務所」「エステック計画研究所」「岡部憲明アーキテクチャーネットワーク」「久富敏明建築設計事務所」

履修の注意

二級建築士資格取得試験の受験資格を有していることを履修条件とする。

評価方法

建築設計事務所における120時間の実務実習を1科目の期間とする。したがって、120時間の実習を行ったものには「学外インターンシップA」の、240時間の実習を行ったものには「学外インターンシップA・B」2科目の認定を行う。

評価方法は、インターン先の確認を経た実務内容のレポート（日毎の作業項目・時間を明記）に基づき、大学院担当教員が単位を認定する。

その他

インターンシップの性格上、実習期間は一定でないため、履修登録の必要の

無い単位認定科目（時間割外科目）となる。

学外インターシップC・D

後期・選択・各4単位

Internship out of Campus C・D

担当教員 主担当：三上晴久

授業目的・方針、到達目標

実際の実務設計に携わることで、建築設計に必要とされる能力の基本を学ぶことを目的としている。

1年次後期（春期休暇を含む）に開設される当科目では、担当する業務が設計プロセスの中で担う意味を十分に理解した上で、インターンに臨んでもらいたい。

授業内容

建築設計事務所にて建築設計業務の補助作業を行うことにより、実施設計の進め方や設計図書の作成について経験を得る。

インターンとして補助する内容は、JIAが定める実務訓練制度に準拠、主として次の項目を想定。インターン期間中の対象物件の進捗状況により、適時補助作業に当たることとする。

1. 設計前業務：①企画、②敷地及び環境調査。
2. 基本計画業務：①基本計画の検討、②関連法規調査。
3. 基本設計業務：①基本設計検討のためのスタディ、②基本設計図書の作成、③設計仕様と材料の概要検討。
4. 実施設計業務：①実施設計検討のためのスタディ、②実施設計図書の作成。
5. 工事発注に関する業務：①見積内容の分析。
6. 管理業務：①設計図書と施工工事の適合の照合。

実習先は本学教員が主催とする以下の事務所を含む一級建築士事務所とし、あらかじめ本大学院が指導者として適当であると認めた一級建築士の指導を受けることとする。「遠藤剛生建築設計事務所」「エステック計画研究所」「岡部憲明アーキテクチャーネットワーク」「久富敏明建築設計事務所」

履修の注意

二級建築士資格取得試験の受験資格を有していることを履修条件とする。

評価方法

建築設計事務所における120時間の実務実習を1科目の期間とする。したがって、120時間の実習を行ったものには「学外インターンシップC」の、240時間の実習を行ったものには「学外インターンシップC・D」2科目の認定を行う。

評価方法は、インターン先の確認を経た実務内容のレポート（日毎の作業項目・時間を明記）に基づき、大学院担当教員が単位を認定する。

その他

インターンシップの性格上、実習期間は一定でないため、履修登録の必要の

無い単位認定科目（時間割外科目）となる。

学外インターシップE・F

前期・選択・各4単位

Internship out of Campus E・F

担当教員 主担当：三上晴久

授業目的・方針、到達目標

実際の実務設計に携わることで、建築設計に必要とされる能力の基本を学ぶことを目的としている。

2年次前期（夏期休暇を含む）に開設される当科目では、インターン関連講義で学んだ知識を活かし、担当するプロジェクトの意義を考察し、自らの研究にも反映させることが望まれる。

授業内容

建築設計事務所にて建築設計業務の補助作業を行うことにより、実施設計の進め方や設計図書の作成について経験を得る。

インターンとして補助する内容は、JIAが定める実務訓練制度に準拠、主として次の項目を想定。インターン期間中の対象物件の進捗状況により、適時補助作業に当たることとする。

1. 設計前業務：①企画、②敷地及び環境調査。
2. 基本計画業務：①基本計画の検討、②関連法規調査。
3. 基本設計業務：①基本設計検討のためのスタディ、②基本設計図書の作成、③設計仕様と材料の概要検討。
4. 実施設計業務：①実施設計検討のためのスタディ、②実施設計図書の作成。
5. 工事発注に関する業務：①見積内容の分析。
6. 管理業務：①設計図書と施工工事の適合の照合。

実習先は本学教員が主催とする以下の事務所を含む一級建築士事務所とし、あらかじめ本大学院が指導者として適当であると認めた一級建築士の指導を受けることとする。「遠藤剛生建築設計事務所」「エステック計画研究所」「岡部憲明アーキテクチャーネットワーク」「久富敏明建築設計事務所」

履修の注意

二級建築士資格取得試験の受験資格を有していることを履修条件とする。

評価方法

建築設計事務所における120時間の実務実習を1科目の期間とする。したがって、120時間の実習を行ったものには「学外インターンシップE」の、240時間の実習を行ったものには「学外インターンシップE・F」2科目の認定を行う。

評価方法は、インターン先の確認を経た実務内容のレポート（日毎の作業項目・時間を明記）に基づき、大学院担当教員が単位を認定する。

その他

インターンシップの性格上、実習期間は一定でないため、履修登録の必要の

無い単位認定科目（時間割外科目）となる。

学外インターシップG Internship out of Campus G

後期・選択・4単位

担当教員 主担当：三上晴久

授業目的・方針、到達目標

実際の実務設計に携わることで、建築設計に必要とされる能力の基本を学ぶことを目的としている。

2年次後期に開設される当科目では、単に建設設計者としての経験を身につけるだけではなく、大学院終了後のキャリアを見据えたインターンとすることが望ましい。

授業内容

建築設計事務所にて建築設計業務の補助作業を行うことにより、実施設計の進め方や設計図書の作成について経験を得る。

インターンとして補助する内容は、JIAが定める実務訓練制度に準拠、主として次の項目を想定。インターン期間中の対象物件の進捗状況により、適時補助作業に当たることとする。

1. 設計前業務：①企画、②敷地及び環境調査。
2. 基本計画業務：①基本計画の検討、②関連法規調査。
3. 基本設計業務：①基本設計検討のためのスタディ、②基本設計図書の作成、③設計仕様と材料の概要検討。
4. 実施設計業務：①実施設計検討のためのスタディ、②実施設計図書の作成。
5. 工事発注に関する業務：①見積内容の分析。
6. 管理業務：①設計図書と施工工事の適合の照合。

実習先は本学教員が主催とする以下の事務所を含む一級建築士事務所とし、あらかじめ本大学院が指導者として適当であると認めた一級建築士の指導を受けることとする。「遠藤剛生建築設計事務所」「エステック計画研究所」「岡部憲明アーキテクチャーネットワーク」「久富敏明建築設計事務所」

履修の注意

二級建築士資格取得試験の受験資格を有していることを履修条件とする。

評価方法

建築設計事務所における120時間の実務実習を1科目の期間とする。

評価方法は、インターン先の確認を経た実務内容のレポート（日毎の作業項目・時間を明記）に基づき、大学院担当教員が単位を認定する。

その他

インターンシップの性格上、実習期間は一定でないため、履修登録の必要の無い単位認定科目（時間割外科目）となる。

学内インターシップ A

Internship in Campus A

前期・選択・4単位

担当教員 三上晴久

授業目的・方針、到達目標

実施設計図の描き方を学ぶ。120時間を基準履修時間とするが、インターシップの性格上、時間数が多くなる場合もある。実施設計図を描くことができるようになることが、学内インターシップAの目標である。

開講期間は、7月中旬から8月上旬にかけての3週間を予定している。

授業内容

実習内容は、次のとおりである。

1. 一般図（仕上表、平面図、立面図、断面図、屋根伏図）
2. 床伏図、小屋伏図、展開図
3. 平面詳細図
4. 矩形図（断面詳細図）
5. 部分詳細図

履修の注意

二級建築士資格取得試験の受験資格を有していることを履修条件とする。

評価方法

最終成果物として実施設計図面集を提出するが、その完成度に基づいて評価する。

使用テキスト、参考テキスト

オリジナルテキスト

その他

インターシップの性格上、実習期間は一定でないため、履修登録の必要の無い単位認定科目（時間割外科目）となる。

学内インターシップ B

Internship in Campus B

選択・4単位

担当教員 三上晴久・特別研究指導教員

授業目的・方針、到達目標

各指導教員が提示する個別のプロジェクトに参加することによって、責任ある立場に基づく補助作業を担当する。120時間を基準履修時間とするが、インターシップの性格上、時間数が多くなる場合もある。

建築設計事務所におけるチーフ・デザイナーの役目を担う能力を養うことが目標である。

授業内容

具体的な参加プロジェクトは、各指導教員の指示によるが、実習内容は学外インターシップ同様次の項目とし、対象物件の進捗状況により 適時補助作業に当たることとする。

1. 設計前業務：①企画、②敷地及び環境調査。
2. 基本計画業務：①基本計画の検討、②関連法規調査。
3. 基本設計業務：①基本設計検討のためのスタディ、②基本設計図書の作成、③設計仕様と材料の概要検討。
4. 実施設計業務：①実施設計検討のためのスタディ、②実施設計図書の作成。
5. 工事発注に関する業務：①見積内容の分析。
6. 管理業務：①設計図書と施工工事の適合の照合。

履修の注意

二級建築士資格取得試験の受験資格を有していることを履修条件とする。

評価方法

120時間の実習期間を基準とするが、課題プロジェクトの進捗によっては時間数が多くなる場合もある。指導教員の確認を経た実務内容のレポート（日毎の作業項目・時間を明記）に基づき、主担当教員が単位を認定する。

その他

インターンシップの性格上、実習期間は一定でないため、履修登録の必要の無い単位認定科目（時間割外科目）となる。